

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 2024年11月25日

事業所名: 放課後等デイサービス
えるいーすと

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

Table with 12 columns: 区分, チェック項目, はい, どちらかいい方ない, いいえ, 工夫した点、改善点, はい, どちらかいい方ない, いいえ, わからぬ, 保護者の方のご意見, 評価を踏まえた改善内容・改善目標. Rows are categorized into 環境・体制整備, 業務改善, 適切な支援の提供, and 適切な支援の提供(続き).

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
関係機関との連携	1	4	0	0	事業所内において担当者が、評価確認を行い、朝礼等で職員間で話し合い、児童発達支援管理責任者が参加している。						引き続き、行っていく。	
	2	4	0	0	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施						引き続き、行っていく。	
	3	4	0	0	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備						引き続き、行っていく。	
	4	4	0	0	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間で支援内容等の十分な情報共有						引き続き、行っていく。	
	5	4	0	0	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供						引き続き、行っていく。	
	6	3	1	0	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進						専門機関での研修等は、スキルアップの為に参加できる時は参加していきたい。	
	7	2	0	2	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	障がいのない子どもと遊べる機会は少ないが、地域の公園や施設の利用をして機会を作っている。	5	2	2	15	児童館などはないようですが、地域交流施設や公園等に行く機会を作ってくれ、少しでも障がいのない子と接する機会を設けてくれると思う。	引き続き、地域の公共施設等を利用して接する機会を設けて、生きずらさを軽減できるよう支援していく。
	8	0	3	1	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	移転して日が浅く、交流ができていないので、放課後等デイサービスを知ってもらうために、今後考えていきたい。						知ってもらう為に事業所周辺のお散歩等をして、地域の人とあいさつ等をかわして、放デイの事を知ってもらう機会を作っていく。
保護者への説明責任・連携支援	1	3	1	0	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	23	1	0	0			引き続き、書面や口頭での説明をしっかりと行っていく。
	2	4	0	0	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	23	1	0	0			引き続き、計画・書を説明して確認を怠らないようにしていく。
	3	4	0	0	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	11	2	1	10	個別に相談にのってもらって対応してくれています。		引き続き、お茶会でのペアレントトレーニングの支援を心がけ、資料の配布等、来れない人にもペアレントトレーニングの支援ができるよう心がけていく。個別の対応もしていく。
	4	4	0	0	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	22	2	0	0			引き続き、行っていく。
	5	4	0	0	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	21	2	0	1	相談あるとき、話をよく聞いてくれて対応してくれています。		引き続き、行っていく。
	6	4	0	0	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	15	3	0	6	参加はできていないが、定期的に開催しているのは知っている。		同じ障がいや病気等を持った保護者の集まりの会を設けるなどして、保護者同士が話しやすい、知りたいことを聞ける場所を提供できるよう検討していく。
	7	4	0	0	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	18	2	0	4	・苦情を伝えたことがない。 ・苦情はなく、苦情は書いたこともないが、玄関に受付箱が置いてあるのを知っていて、説明も聞いている。		苦情ボックスの周知を行う。
	8	4	0	0	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	22	2	0	0			引き続き、保護者とのやりとりや子供の特性に応じた支援をしていく。
	9	3	1	0	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	22	1	0	1			引き続き、行っていく。
	10	4	0	0	個人情報の取扱いに対する十分な対応	22	0	0	2			引き続き、しっかりとした取り扱いを行っていく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標			
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ		わからない	保護者の方のご意見	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	4	0	0	玄関先に各マニュアルを配置していて、職員も周知している。必要に応じて保護者に説明を行っている。職員は定期的に研修を行っている。	21	0	1	2	玄関に保護者が見えるように、設置している。	玄関に保護者の方が見えるように、設置している。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	4	0	0	1ヶ月に1回、いろんな災害を想定しての避難訓練を行ったり、防災センターに行ったりしている。 ・保護者への引き渡し訓練も1年に1回行っている。	23	0	0	1	1ヶ月に1回、毎月行ってきていてありがとうございます。	引き続き、行っていく。
	3	服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況の確認の実施	4	0	0	服薬やてんかん等については、契約時に、保護者の方にお聞きしたり、その都度、情報共有している。						引き続き、保護者の方々には、薬が変わったり、増量したとき、発作があるときなどは伝えてもらい、事業所内で情報共有を行っていく。
	4	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応				アセスメント時に、確認事項に記載している。 今のところは、利用児童に食物アレルギーのある子供さんがいない。						
	5	安全管理の徹底	4	0	0	毎月の安全点検に加えて、日々の環境整備を徹底し、子供たちが安全に過ごせるようにしている。						引き続き、行っていく。
	6	家族等との連携を図るため、安全計画に基づく取組内容についての家族等へ周知	4	0	0	災害時伝言ダイヤル(171)についてを配布・掲示、引き渡し訓練の実施、安全計画マニュアルを玄関先に設置と必要に応じて保護者にも説明を行っている。						引き続き、行っていく。
	7	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	3	1	0	事例を作成し、事業所内や事業所全体(3ヶ所)間で、対策を話し合っている。						引き続き、定期的に行っていく。
	8	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	4	0	0	職員研修や虐待防止委員会を定期的に行っている。また、講師の方を呼び講演して頂いている。						引き続き、行っていく。
	9	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	4	0	0	車いす・バギー(腰ベルト有)・ヘッドギアを使用する利用者には、契約時に説明をし、保護者さんの同意を頂いている。支援計画書にも記載し、カンファレンスをし、活動プログラムまたは記録に記載している。						引き続き、車いす・バギー(腰ベルト有)・ヘッドギアを使用する時は、本人の体調等も見つつ、安全な時は腰ベルトを外したり、ヘッドギアをのける時間をつくっていく。